

3回目になった治水の森公園作り事業の植樹行事が、11月9日は天候にも恵まれ、老若男女50名のボランティア、NPOふるさと創夢課の参加を得て無事予定より早く植樹をできました。皆様お疲れさま。

治水の森公園の概要は上野敏孝さん（当 NPO 理事）の所有地（鹿児島市唐湊と紫原の境界付近）約6,000平方メートルの内、約2,500平方メートルを平成24年4月に県から森林フィールド認定、24年から緑の羽根募金の補助事業として運営しています。今年度は、330㎡に植樹しました。

植樹した樹種は、潜在自然植生である、ウバメガシ、マテバシイ、タブノキ、ヤブツバキ、ヤブニツケイ等、中低木はユズリハ、サカキ、ヤブサザンカ等1,000本です。混植、密植の宮脇昭方式植樹

植樹する苗は一昨年春にポット苗とした400本、昨年に引き続きグリーンサプライきりしまの苗600本を充てました。1トレイには約20本の苗が入っています。1平方メートルに3本で、約7平方メートル分となります。1メートル四方を想定して、60センチメートルの正三角形を作るように植えます。

今年の植樹場所は公園の上の平坦地になり、あまり大きくならない木、昆虫が集まる森という風に考えてうえました。将来、住宅地からの展望の邪魔になる場合は、樹高や枝払いのコントロールができるよう、樹種の配置に留意しました。

当日の様子です。

（文責：田ノ上春雄、写真撮影：黒木征一郎、上野真由美）









